

令和4年度 家庭科 「家庭基礎」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	理数科 2年H組
教科書	家庭基礎パートナーシップでつくる未来（実教出版）	副教材等	生活学Navi2022

1 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技能を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	家庭基礎を学ぶにあたって 第1編 人とかかわって生きる 第1章 自分らしい生き方と家族	・家庭基礎を学ぶにあたって ・自立した生き方、共に生きる人生	・家庭基礎を学ぶにあたって、学習の意義や内容・方法・評価について理解します。 ・人の一生について考え、それぞれのライフステージごとの特徴・課題を理解する。 ・今の自分について自己分析を行い未来予想図を描く。	・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート
	5	第2章 食生活をつくる	・私たちの食生活 ・栄養と食品のかかわり ・食事の計画と調理 ・これからの食生活を考える	・栄養素の種類と働きや各栄養素が多く含まれる食品について基礎的な知識を身につけ、献立作成・調理につなげられるようにする。 ・栄養・食品の知識をもとに、食事摂取基準、食品群別摂取量などを用いて、バランスのとれた家族の食事計画ができるようにする。 ・調理に関する基礎的な技術を身につける。 ・食事マナーを知り、楽しく食事ができるようにする。 ・各自の食生活の問題点について考え、現状や課題について学ぶ。	・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート ・調理実習
	6				
	7				
	8	ホームプロジェクト	・ホームプロジェクト ・ホームプロジェクトの発表・相互評価	・ホームプロジェクトの課題をみつけ、課題解決に向け調査・研究を行う。 ・ホームプロジェクトの発表・相互評価する。	・作品（ホームプロジェクト） ・発表・相互評価
	9		第2回考査		第2回考査
		第3編 消費者として自立する	・消費行動と意思決定 ・社会の変化と消費生活 ・消費者の権利と責任 ・経済的に自立する ・ライフステージと経済計画	・多様な販売方法や支払方法、問題商法について理解する。 ・消費者トラブルの解決方法について理解する。 ・消費者の権利と責任について理解し、自主的に行動することの必要性を理解する。 ・適切な家計管理について考える。 ・将来のライフイベントや起こりうるリスクと、その費用について考え、長期的な経済計画について学ぶ。	・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート ・ファイル提出

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	10	食生活をつくる	・食事の計画と調理	・調理に関する基礎的な技能を身に付ける。	・調理実習 ・ワークシート
		第2章 衣生活をつくる	・人と住まいのかかわり ・住まいを計画する ・健康的な住まい環境 ・安全な住まい環境	・住まいの機能、住まいの文化、風土とのかかわり、ライフスタイルと住まいとのかかわりについて理解する。 ・ライフステージやライフスタイルに応じた住生活の計画ができるようにする。 ・快適な室内環境と、家庭内事故や災害について学習し、安全な住まい環境について理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート
	11	第2章 衣生活をつくる	・人と衣服のかかわり ・衣服の素材を見てみよう ・衣生活の管理 ・衣生活と資源と環境 ・基礎縫い ・小物製作	・衣服の機能や役割について理解する。 ・衣服素材の種類、繊維の種類と特徴、衣服素材の性能について理解する。 ・計画的な衣生活を送るために、衣服の購入・選択、洗濯・保管、廃棄までの流れを理解する。 ・日常生活に役立てるため手縫いの基礎・基本的な技能を身に付け伝統的な刺し子の作品を製作する。	・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート
	12				
	1	第1章 自分らしい生き方と家族	・共に生きる家族 ・家族に関する法律 ・私たちの生活を支える労働と生活時間	・家族・家庭の意義や機能、家族に関する法律、家族の抱える課題について理解する。 ・労働の種類や意義について理解し、現代生活における課題について考える。	・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート
	2	第2章 子どもとかかわる	・子どもを知る ・発達のすばらしさ ・親になることを考えよう	・子どもの誕生、子どもの心身の発達と特徴について学ぶ。 ・子どもの食生活・衣生活、遊びについて理解を深める。 ・家庭保育と集団保育、子育てのための国や地域の社会的支援について理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート
	3	第3章 高齢者とかかわる 第4章 社会とかかわる	・高齢社会に生きる私たちの暮らし ・高齢者を知る ・豊かな高齢期を迎えるしくみ ・支えあう暮らしとは ・私たちの社会福祉	・高齢者の心身の特徴や生活について理解を深める。 ・介護保険制度のしくみやサービスの内容、地域住民間での助け合いの活動などを理解する。 ・社会保障制度や社会福祉の重要性について理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート
			第4回考査		第4回考査

3 評価の観点

関心・意欲・態度	家庭生活に関心を持ち、自立した生活をするために意欲的に知識を習得しようとする態度を持っている。
思考・判断・表現	家庭や地域の生活に関わる課題を見付け思考を深め、工夫し創造する能力を身につけている。
技能	実習や実験を通して、技術の向上や生活課題の解決を主体的に行う技能を身につけている。
知識・理解	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉・消費生活、衣食住などに関する知識を総合的に身に付けている。

4 評価の方法

考査の成績、プリントの提出状況や内容を評価、作品への取り組みや内容を評価、また、学習活動への関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、知識・理解の4観点から評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> ・通常、授業は教室で行いますが、実験・実習の際には調理室または被服室で行います。授業開始に遅れないように移動してください。 ・授業はプリントを配布して学習しますので、管理を確実にしてください。 ・火気や危険物を扱います。指示に従って十分注意してください。
